

# KiKiの広場

2011年 9月 1日

cafe NO.11  
KiKi



本当に本当に暑い暑い夏でした。でしたというか・・・、まだまだ残暑は厳しそうですが。

昨年9月25日にオープンした「ヒストリア字部」と「cafe KiKi」も、もうすぐ丸1年を迎えようとしています。昨今の頃は、うまくコーヒーが淹れられるかしらと、ドキドキのスタッフみんなの特訓中(?)だったような・・・。思えばたくさんの方々を支えられての1年間でした。手際が悪くあたふたする場面も多々ありましたが、その都度お客さまに温かく見守っていただきました。本当にありがとうございました。

そしてこの夏、「ヒストリア字部1周年記念イベント～夏休みは子どもが主役だーい!～」の中で、タグボート主催のイベント「Kid's Day」に、私たち KiKi のスタッフもドリンクコーナーや絵本の読みがたり、折り紙のワークショップなどで参加しました。おかげさまで多くの方に足を運んでいただくことができました。

最初は200冊だった本も、今は児童書100冊、絵本400冊、計500冊に増えました。

これからも、小さな人にとっても大人にとっても、ほっとできる心地よい場所になるよう、スタッフ一団力を合わせてがんばっていきたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。



**9月の予定**

13日(火)	休館日	お休み
--------	-----	-----



## 今月のお気に入り・・・「ふしぎな絵本」

～「ふしぎなナイフ」「あおいふうせん」「きつね三吉」「そこなし森の話」「かようびのよる」などなど～

ナイフの形がページをめくるたびにかわったり、ふうせんが突然消えたり四角になったり、主人公ははたして人かきつねか？ 森の中でみたものはいったい？ かようびのよるにとんでいるものは？ など、ふしぎなお話がいっぱいです。



## 今月の本棚・・・「お月さまがでてくる絵本」～「つきがみていたはなし」「14ひきのおつきみ」など～

一年で一番月が美しいと言われている中秋の名月は、今年は9月12日。暦の関係で、中秋の名月は必ずしも満月にならないようですが、今年は2005年以来6年ぶりに満月になるそうです。昔から月には、人々を惹きつけたり怖がらせたりする不思議な魅力がありますね。絵本の中にもいろいろな月が登場します。



## ほっとフレイク

隣のイベントホールでは、この1年いろいろな催し物が行われました。ジャズコンサート・ピアノやダンス歌などいろいろな発表会・雑貨市・映画上映会・カラオケ大会・講演会などなど。KiKiにもそれぞれイベントの関係者の方が準備の時や終了後に来られ、お話を聞かせていただく機会もたくさんあり、どういふ方たちがどんな思いでされているかなどを知ることができました。



先日にも個展がありましたが、準備や開催期間中の受付などお世話をされるのは、小・中学校時代の同級生の方たちでした。みなさん前日から KiKi にも来られ、大いに盛り上がりおられました。女性も男性もお互い「○○ちゃん」と下の名前前で呼び合ったり、笑いの絶えないお話をされていて本当に楽しそうでした。何十年も前に(半世紀?失礼!!)一緒に過ごした仲間が、また一つの目的に向かって協力し合うことができる・・・



みなさんのお話を聞き笑顔を見て、こんな風に友だちと歳を重ねていけたらいいなあと思いました。期間中「皆勤するからね。」と毎日来てくださった方もいらっしゃいます。ありがとうございました。ぜひまたみなさんで遊びに来てください。心よりお待ちしております。





# KiKiの広場

2011年 9月 1日

cafe NO.11  
KiKi



本当に本当に暑い暑い夏でした。でしたというか・・・、まだまだ残暑は厳しそうですが。

昨年9月25日にオープンした「ヒストリア字部」と「cafe KiKi」も、もうすぐ丸1年を迎えようとしています。昨今の頃は、うまくコーヒーが淹れられるかしらと、ドキドキのスタッフみんなで特訓中(?)だったような・・・。思えばたくさんの方々を支えられての1年間でした。手際が悪くあたふたする場面も多々ありましたが、その都度お客さまに温かく見守っていただきました。本当にありがとうございました。

そしてこの夏、「ヒストリア字部」周年記念イベント～夏休みは子どもが主役だーい!～の中で、タグポート主催のイベント「Kid's Day」に、私たち KiKi のスタッフもドリンクコーナーや絵本の読みがたり、折り紙のワークショップなどで参加しました。おかげさまで多くのみなさんに足を運んでいただくことができました。

最初は200冊だった本も、今は児童書100冊、絵本400冊、計500冊に増えました。

これからも、小さな人にとっても大人にとっても、ほっとできる心地よい場所になるよう、スタッフ一団力を合わせてがんばっていきたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。



9月の予定		
13日(火)	休館日	お休み



## 今月のお気に入り・・・「ふしぎな絵本」

～「ふしぎなナイフ」「あおいふうせん」「きつね三吉」「そこなし森の話」「かようびのよる」などなど～

ナイフの形がページをめくるたびにかわったり、ふうせんが突然消えたり四角になったり、主人公ははたして人かきつねか？ 森の中でみたものはいったい？ かようびのよるにとんでいるものは？ など、ふしぎなお話がいっぱいです。



## 今月の本欄・・・「お月さまがでてくる絵本」～「つきがみていたはなし」「14ひきのおつきみ」など～

一年で一番月が美しいと言われている中秋の名月は、今年は9月12日。暦の関係で、中秋の名月は必ずしも満月にならないようですが、今年は2005年以来6年ぶりに満月になるそうです。昔から月には、人々を惹きつけたり怖がらせたりする不思議な魅力がありますね。絵本の中にもいろいろな月が登場します。



## ほっとフレイク

隣のイベントホールでは、この1年いろいろな催し物が行われました。ジャズコンサート・ピアノやダンス歌などいろいろな発表会・雑貨市・映画上映会・カラオケ大会・講演会などなど。KiKiにもそれぞれイベントの関係者の方が準備の時や終了後に来られ、お話を聞かせていただく機会もたくさんあり、どういふ方たちがどんな思いでされているかなどを知ることができました。



先日でも個展がありましたが、準備や開催期間中の受付などお世話をされるのは、小・中学校時代の同級生の方たちでした。みなさん前日から KiKi にも来られ、大いに盛り上がりおられました。女性も男性もお互い「○○ちゃん」と下の名前前で呼び合ったり、笑いの絶えないお話をされていて本当に楽しそうでした。何十年も前に(半世紀?失礼!!)一緒に過ごした仲間が、また一つの目的に向かって協力し合うことができる・・・

みなさんのお話を聞き笑顔を見て、こんな風に友だちと歳を重ねていけたらいいなあと羨ましく思いました。期間中「皆勤するからね。」と毎日来てくださった方もいらっしゃいます。ありがとうございました。ぜひまたみなさんで遊びに来てください。心よりお待ちしております。





# KiKiの広場

2011年 10月 1日

cafe NO.12  
KiKi



先月無事に1周年を迎えた「cafe KiKi」です。4月から始まった「ヒストリア宇部」の『コミュニティ・カレッジ（略称コミカレ）』も9月から第2期がスタートし、多彩なコースの先生や生徒さんにもカフェの飲み物を利用していただいています。

1周年を記念して（?）、ソフト面だけでなくハード面も少し変わりました。カフェ内の照明がちょっぴりおしゃれに、また外観に関してはフェイジョアの鉢に猫の「ジジ」が登場し、ドアサッシの縁の色も変わりガラスにも模様が、そして出入口にはなんとアーチができました。今後、どう変化していくかこうご期待！！

（なんですが、ちょっとプレッシャー（～～;)）すてきなアーチになるといいなあと思っています。

またこの1年、多くのお客さまに「いつもお花がいっぱいあっていいね。」とっていただきまし  
た。それは、以前にも紹介させていただいた清掃をしてくださっているKさんが、2～3日おきに  
自宅の庭に咲いた花を持って来てくださっているおかげです。冬の寒い時期や夏の暑い時期など花の少ない頃  
でも、欠かさずたくさんの花を抱えて来てくださいました。生花を生けるといのは、水切りや水替えをして  
もすぐ枯れてしまって本当に大変ですが、トイレの花も毎日お世話してくださっています。どれほどたくさん  
のお花と気持ちをいただいていることか・・・言葉では言い尽くせない思いでいっぱいです。



「cafe KiKi」もまだやっと1歳になったばかりですが、たくさんの方たちとの出会いに感謝し、大切に  
していきたいと改めて思いました。



## 10月の予定

11日(火)	休館日	お休み
--------	-----	-----



### 今月のお気に入り・・・「秋を感じる絵本」

～「やまなしもぎ」「もりのかくれんぼう」「川はたまげたことだらけ」「さんねん峠」「さつまのおいも」など～

秋といえば・・・食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋 etc. そんな様々な秋を感じる絵本です。

### 今月の本棚・・・「馬場のぼるシリーズ」～「11ぴきのねこ」「アラジンと魔法のランプ」「かえるがみえる」など～



「11ぴきのねこシリーズ」を始め、楽しい絵本をたくさん描いた絵本作家でもあり漫画家の馬場のぼるさん。作品は数々ありますが、言葉あそびの本や「こんな本も描かれていたんだなあ」という本を、取り上げてみました。手塚治虫さんと親交があり漫画のモデルにもなったという、遊び心いっぱいの「馬場のぼるワールド」に触れてみてください。



### ほっとフレイク



竹馬の友その2・・・個展が終わって以来、毎週のように来てくださっている幼なじみのみなさん。それもいろいろな物持参で。マンゴー・梨・白いゴーヤ・いちじくにあけび、そしてカフェにも飾っていますが、ポポーの実も。果物としては殆ど流通していないそうで、「木になるカスタードクリーム」と言われるような  
ねっとりとおま〜い果実です。手作りのデザートや外国のお土産のチョコレートも持って来てくださ  
って、一緒にいただいたことも。おかげさまでいろいろな味を堪能させていただきました。



またみなさんの干支は丑（うし）だそうで。実は KiKi スタッフの中にも丑年がちゃんと2人いました。何を隠そうYちゃんと私です。（お互い、と、としが・・・^^;) 先日来られた時ちょうど私たち2人がいたの  
ですが、世代は異なるのに一回りずつ違っているだけでなんとなく連帯感♡・・・なんか不思議ですね。

みなさんの会話を聞くだけで仲の良さや楽しさが伝わってきて、幼なじみっていいなと感じるひと時です。



# KiKiの広場

2011年 11月 1日

cafe NO.13  
KiKi



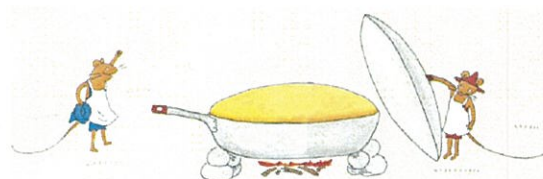
「天高く馬肥ゆる秋」。秋の空が高いと言われるのは、大気の状態が安定して視界が良くなるためだそうですが、お天気のいい日に空を見上げると、澄み切った青が本当にきれいです。1年で一番美しいと言われる、この青空の下で飲むコーヒーの味は格別です。ぜひ、cafe KiKi のオープンテラスで、気持ちのいいひと時を過ごされてはいかがでしょうか

さてお知らせです。11月から新しいメニューが仲間入りしました。「**ベーグドチーズケーキ(300円)**」です。しっとり濃厚で口溶け最高、スタッフもお気に入りです。また夏季限定のマンゴーケーキが好評のうちに終了しましたので、代わりに月毎に1種類のケーキをセレクトし「**今月のケーキ(300円)**」としてメニューに加えることになりました。11月の「今月のケーキ」は「**マロンケーキ**」です。どうぞ、ご賞味あれ。



## 今月のお気に入り・・・「美味しそうな絵本」

～ 「しろくまちゃんのほっとけーき」「ぐりとぐら」「からすのパンやさん」「ちびくろ・さんぼ」などなど ～



やはり秋と言えば真っ先に浮かぶのが「食欲の秋」。

何を見ても美味しそうに思えるのは私だけではないですよね？

どれだけたくさんの方が、「ぐりとぐら」のカステラに心を奪われたのでしょうか。絵の中に入って食べてみたいと心底思いました。

そんな美味しそうな絵本を集めてみました。

## 今月の本棚・・・「バーバラ・クーニーの世界」～「ルピナスさん」「チャンティグリアときつね」「ちいさなもみのき」など

1冊の美しい絵本のように生きた人と言われ、83歳で現役のまま亡くなりました。柔らかな色使いとどこか懐かしい雰囲気漂わせた優しい絵ですが、とても繊細で細部に渡って丁寧に描かれており、読み返す度にまた新たな発見があったりします。お話もとっても素敵です。



クーニーの優しさの中にある凜とした世界を味わってみてください。



## ほっとしレイク

**将棋ガール**・・・今回は将棋ボーイならぬ将棋ガールのお話です。と言っても、実際将棋を打つのではなく、家族についてやってくる4～5歳の女の子たちのことです。今まで待ち時間に何度か来てくれているガールたち。勝手知ったるという感じでカフェに入ってきて、お母さんたちを尻目に「今日はこっち。」と2人でカウンターに座り、メニューを手にとって、「ケーキセット」をリクエスト。「早くあっちに行って。」とお母さんたちを早々に追い出して(笑)、子どもたちだけの世界。食べ終わると、絵本を見たり、カフェに置いてあるあやとりをしたりしていましたが、少々退屈してきた様子。他にお客さまもいらっしやらなかったもので、「折り紙する？」と声をかけてみると、「やるやるっ！！」と。

それから一緒にぴよんぴよんガエルや手裏剣、ショートケーキなどを作りました。さすが将棋士の家系(?)

覚えるまでコツコツと何個も作り、最後は自分のものにしていました。その日は将棋の大会があり出場していたお兄ちゃんたちも、自分の出番が終わるとカフェに来てくれました。やっぱり兄妹、折り紙の本を見ながら、何個も作って、完璧に覚えていました。う～ん、さすが！





# KiKiの広場

2011年 12月 1日

cafe NO.14  
KiKi



12月がやってきました。この時期、朝晩暗いうちに外に出ると、澄み切った空気の中、寒さと同時にはっとするほど月や星がきれいに見えます。ああ冬が来たんだなあと感じる瞬間です。

今年は日本にとって、想像を絶する悲しい出来事がありました。世界中でもいろんなことがありました。まだまだ辛く苦しい思いをされている方がたくさんおられます。1日も早く心穏やかに過ごせる日が訪れることを願い、来年が希望の年になるよう心から祈っています。

今年も大変お世話になりました。来年もどうぞよろしく願いいたします。



## 12月の予定

13日(火)	休館日
29日(木) ～3日(火)	年末年始休み



## 「今月のケーキ」・・・「ガトーショコラ」 300円



ちょっぴりクリスマスっぽいかなと。甘味を抑えた濃厚な口当たりで、温かいケーキとしてもいただけます。「バークドチーズケーキ」も好評です！引き続きお楽しみください。



## 今月のお気に入り・・・「クリスマスの本」

～「クリスマス人形のわが家」「急行「北極号」」「山のクリスマス」「とびきりすてきなクリスマス」などなど～



思いっきり大人になった今でも、この季節になるとワクワクソワソワしてきます。クリスマスには、楽しさ 美しさ 夢がいっぱい など、ステキな本がたくさんあります。

← この絵本は、たまらなくかわいくて胸がキュンとなる、とっても優しいお話です。

まだ出会っていない、とっておきの絵本に、この冬もしかしたら出会えるかもしれませんね。



## 今月の本欄・・・「冬の本」

～「つるにようぼう」「ゆきのひ」「月夜のみみずく」「ゆきのひのうさこちゃん」「ゆきだるま」などなど～

みなさんの冬のイメージは、どんなものでしょうか？しんと降り積もる雪・澄んだ空気・いつもより輝いて見える夜空の星 etc. 絵本の中の冬もさまざまです。暖かいほっとするような冬や、はあ～っと白い息が見えてきそうな冷たい冬・・・いろいろな冬を楽しんでみてください。



## ほっとスレイク

竹馬の友その3・・・夏に出会った竹馬の友のみなさんですが、寒くなっても毎週のように来てくださっています。最近、柿・さつまいも・大根などの食べ物の他、マンリョウ・センリョウなどのお花も、山で摘んできてくださいました。

そんなある日店内に入ると、どーんと水槽が置いてあって、中には水と白い砂。近づくと何やらうごめくものが・・・。果たしてその正体は、「シマドジョウ」でした。体長6～7cmで、澄んだ川や池などのきれいな砂地の中に生息していて、鑑賞用としても人気があるそうです。なんと竹馬の友のNさんが私たちに見せる為わざわざ川の上流に行って、10匹も捕まえて来てくださったものでした。

水槽の側を通るたび、気配を感じたシマドジョウがシュルツ、シュルツと動いて、いつもカウンターの中は自分1人のはずなのに、なんかちょっぴりペットを飼っているような気分で、とっても可愛く思いました。



さすがに生き物をずっと KiKi で飼うわけにもいかず、今はNさんのお宅で健やかに飼われています。みなさん、いつもいろいろ楽しませてくださって、本当にありがとうございます。



# KiKiの広場

2012年 1月 5日

cafe NO.15  
KiKi



## あけましておめでとうございます！

辰年生まれには、世界三大女傑（ジャンヌ・ダルク ナイチンゲール ヘレン・ケラー）がいるそうです。向上心を持って自分の信念を貫いた女性たちですね。みんながみんな彼女たちのように、困難にくじけず強く生きることがなかなか難しいと思いますが、せめて今年は、昇り竜のように少しでも上を向いて笑うことがいっぱいある年になるといいなあと思います。

みなさま、今年もどうぞよろしくお願ひいたします。



### 1月の予定

10日(火)	休館日
--------	-----

### 「今月のケーキ」・・・「かぼちゃの焼きケーキ」 300円



バターをたっぷり使用した生地にかぼちゃを練り込み、かぼちゃスライスと甘く煮た小豆をトッピングした素朴なケーキです。

温かいケーキとしても美味しくいただけます。

### 今月のお気に入り・・・「冬の本 その2」

～「ね、うし、とら・・・十二支のはなし」「雪の写真家 ベントレー」「きらきら」「なつのゆきだるま」などなど～

冬は子どもたちにとって、クリスマス・お正月と嬉しい行事が続きますね。そしてもう一つ、ワクワクするのが、雪です。その雪の結晶の写真撮影に努力したのが、外国ではベントレー、日本では吉田六郎さんです。「きらきら」は、その美しい写真と谷川俊太郎さんのやさしい言葉が響きあって、ひとつとして同じものがない雪の結晶の世界へ、私たちを導いてくれる素敵な本です。「なつのゆきだるま」は「どろんこハリー」のジーン・ジオンと奥さんのグレアムコンビの作品です。あたたかく優しい気持ちになれます。



### 今月の本棚・・・「りゅうが出てくる本」

～「龍」「竜のはなし」「山をはこんだ九ひきの竜」「でんでら竜がでてきたよ」「騎士とドラゴン」などなど～

「辰」にちなんで、いろいろな「りゅう」を連れてきました。干支の中で唯一の架空動物とはいえ、神話や民話に多く登場し、神の化身であったり、神や仙人の乗り物であったりと、昔の人々にとっては想像上の生き物ではなかったのかもしれませんが、ちなみに、日本列島の形って、龍のように見えますね。



「龍」は気の弱い龍が、田島征三さんの迫力のある絵で描かれている楽しい絵本です。「竜のはなし」は、「このおはなしはおとぎばなしではありません」という前書きから始まる、宮沢賢治の強い思いが伝わるお話です。他の生き物の為に自分を犠牲にする竜、ジーンと胸に響きます。「でんでら竜がでてくるよ」は、長崎の童歌から生まれた絵本です。ながさき言葉の楽しさと物語の面白さ、そして、木版画のモノクロの挿絵がすばらしくて、13章からなっていますが、あっという間に読んでしまいます。

### ミニ ほっとスライク

クリスマスの日の朝、オープン前から「いいですか？」と入って来られた若いカップル。2人で楽しそうにおしゃべりされること2時間。時計を見て、「あっ、もうこんな時間！」とお昼を過ぎてから帰られました。

時を忘れてお互いの顔を見ながら夢中で話すって・・・、そう言えば昔、そんなことあったなあと・・・しばし、遠い過去にタイムスリップ。ちょっぴりキュン♥となるクリスマスの出来事でした。

(私たちおばちゃん同士では、日常茶飯事ですけれどね。^^;)





# KiKiの広場

2012年 2月 1日

cafe NO.16  
KiKi



子どもたちにとって、先週の雪はさぞ嬉しかったことでしょう。けれども、今各地で雪による被害が出ていることを考えると、これ以上降らないでほしいと祈らざるを得ません。今年は4年に一度の閏年(うるうどし)、夏季オリンピックの年でもあります。2月29日は閏日(うるうび)と言い、英語では、leap day(跳躍の日)と言うそうです。毎年同じ日の曜日が1つずつずれていくのに対し、閏年は閏日以降2つずれてしまう、つまり曜日を飛び越えてしまうことから、そう呼ばれるようになったそうです。「跳躍」という言葉のように、心も身体も弾んで、みんなでいろいろな何かを飛び越え、乗り越えられるといいなあと思います。



## 2月の予定

14日(火)	休館日
--------	-----



## 「今月のケーキ」・・・「チョコレートケーキ」 300円



バレンタインっぽいかなとチョイスしました。柔らかく焼き上げたココアスポンジに、カカオ分62%のチョコレートクリームをはさんだ、表面にツヤのあるチョコレートケーキです。



## 今月のお気に入り・・・「鬼が出てくる本」

～ 「鬼のうで」「すみ鬼にけた」「鬼ぞろぞろ」「鬼の首引き」「かえるをのんだととさん」「鬼の橋」などなど ～

節分にちなんで、鬼が出てくる本を集めてみました。「龍」と同様、「鬼」は昔話になくてはならない存在です。「鬼のうで」は、「御伽草子」や「太平記」でおなじみの切られた腕を取り戻しにくる鬼の話を、赤羽末吉さんが長年にわたり想をあたたため、画魂をこめて創作、絵本化されたものだそうです。

「鬼の橋」は絵本ではなく児童書です。鬼や物の怪と人間が混在していた平安中期に、冥界と現世を行き来するお話ですが、ストーリーはもちろん登場人物がとても魅力的で、子どもだけでなく大人にもぜひ読んでもらいたい、読み応えのある心に残る一冊です。



## 今月の本棚・・・「マーガレット・ワイズ・ブラウンシリーズ」

～ 「うさぎのおうち」「おやすみなさいおつきさま」「おぎょうぎのよいペンギンくん」「いぬおこわり」などなど ～

42歳という若さで亡くなった、マーガレット・ワイズ・ブラウン。生前100冊以上の作品を残していますが、死後も数多くの作品が発表されています。「うさぎのおうち」の絵は、仲の良かった「しろいうさぎとくろいうさぎ」の作者ガス・ウィリアムズ。リズムがあって詩のような文章と、思わず触りたくなるような毛並につぶらな瞳のうさぎがかわいくて、抱きしめたくなるような本です。



「いぬおこわり」は、ユーモアたっぷりの、楽しくてほほえましい犬のお話です。絵は「ひとまねこぎる」のH・A・レイで、動物たちが生き生きと描かれています。



## ほっとフレイク

隣のイベントホールで、週3回1時間ほどジャザサイズがあります。若い方から年配の方まで幅広い年齢層のみなさんがたくさん来られていて、毎回ドア越しに、そのパワフルな雰囲気伝わってきます。

ある日、80歳を超えと言われる男性が2人来られて、にぎやかな様子に「こりゃいいねえ、元気がもらえそうじゃね。見学させてもらおうか。」と言われました。時々、外を歩いている人が何をやっているんだろうと、ガラス越しにのぞいておられることもあるし、まあいいかなと思っていると、1人の方が、ドアを開けて中をのぞいてみられました。「こりゃちょっと見学はいけんじゃろう。なんか水着みたいなのがいっぱいおるよ。」それを聞いて、もう1人の方も中をのぞかれました。「ほんとじゃ、こりゃいけん。ここで音楽だけ聞かせてもらおう。」・・・そ、それがいいかも・・・(^\_^;)





# KiKiの広場

2012年 3月 1日

cafe NO.17  
KiKi



あの日からもうすぐ1年が経とうとしています。日本だけでなく世界中の人々の心が引き裂かれるような3月11日の出来事は、これからも決して忘れることはできません。被災された方や現場で作業されている方たちへ思いをよせながら、自分にできることを精一杯考え、日々を大切に過ごしていきたいと思います。

今 KiKi の中は、待ち遠しい春でいっぱいです。何種類もの水仙・ボケ・枝垂れ黄桜・紅梅・アネモネ・椿・ネコヤナギなどなど。いつものお花の K さんや竹馬の友の Y さんが、思いと一緒に届けてくださったものです。暖かく穏やかな春が、早く来るといいですね。

3月の予定	
13日(火)	休館日



「今月のケーキ」・・・「ミルクレーフ」 300円



幾重にも重ねたクレープ生地のあいだにクリームをはさみ、天面にナパージュを塗って仕上げた、定番人気のミルクレープです。



今月のお気に入り・・・「巣立ち・旅立ちの絵本」

～ 「こすずめのほうけん」「ラキとらいおん」「ぜつぼうの濁点」「たったひとつの」などなど ～



3月は卒園や卒業など、旅立ちや別れの月でもありますね。わが子が、赤ちゃんから子どもへ、子どもから青年へと、少しずつ自分の手から離れていくのを感じるのは、嬉しさと同時にたまらない寂しさがあります。大きな愛に見守られながら自分の足で一步踏み出す、そんな絵本を選んでみました。



「ぜつぼうの濁点」は、ひらがなの国で長年「ぜつぼう」に仕えた「濁点」が、主を絶望させていたのは自分の存在だと気づき、別れを告げて新しいひらがなの主を求めて旅にでるといってお話です。衝撃的な題名ですが、いろいろなひらがなから毛嫌いされながら行き着いたすてきな結末と、日本語っていいなと思える絵本です。「たったひとつの」は、5歳から高校まで宇宙で過ごした版画家江崎満さんの作品です。ずっと1人ぼっちで暗い穴の中にいたオオサンショウウオが、シアワセを求めいろいろな生き物に出会いながら、「或ることのすばらしさ」に気づくお話ですが、宇宙を感じるような美しい版画に引き込まれます。テーマは、「家を出る息子へ送ったメッセージ」だそうです。



今月の本棚・・・「シャーロット・ゾロトウの世界」

～ 「はるになったら」「うさぎさんてつだってほしいの」「まってね」「いまがたのしいもん」などなど ～



ニューヨーク郊外のハドソンの森の中で育ち、草木や花に囲まれた美しい自然の中で暮らしていたというシャーロット・ゾロトウ。優しさにあふれるゾロトウのお話の中に出てくる子どもたちは、ちょっと(?)昔の自分です。ささいなことや小さな自然に心ときめかしていた、懐かしくてちょっぴり切ない・・・そんな思いがよみがえってきます。「まってね」「いまがたのしいもん」は、お母さんにはたまらない本ではないでしょうか? 「生まれてきてくれてありがとう。」と、どんなに大きくなったわが子でも思わず抱きしめたくくなります。



ほっとフレイク

将棋ボーイ再び・・・6年生の将棋ボーイ H さんと T くんが、2人そろってきました。「中学生になったら将棋教室もう来ないの?」と聞くと、「いや、来るでしょ。」と同時に答えた2人。「でも部活とかあるでしょ?」と言うと、「いやあ、あっても来れる時は来ますよ。」と H くん。T くんが「将棋はやめんと思う。」と言うと、H くんが「いや、将棋はやめるとかやめんとか、そういう問題じゃないやろ。ずっとやるもんやろ」と。指導をされている先生方にお話を聞くと、子どもたち一人ひとりに対する思いや願いをすごく感じます。ただ、この先ずっと続ける人もいれば、しばらくお休みする人、大人になってまた将棋の勉強が楽しくなる人、将棋との関わり方は人それぞれだと。いいですね。こんなに早くから、ずっとやりたいと思えるものに出会えるなんて。





# KiKiの広場

2012年 4月 1日

cafe NO.18  
KiKi



春一番だけでなく、春二番・春三番か(い、意味が(^\_^;) )というくらい強い風がよく吹いた3月でしたが、ようやく例年より遅い桜もちらほら見られるようになり、待ち遠しかった春がやっと来ました。

「ヒストリア宇部」の『コミュニティ・カレッジ(略称コミカレ)』も、4月から第3期がスタートします。講座数も増え、今年度は年間通しての講座となっています。心と身体の健康にいいコミカレを、どうぞお楽しみください。



「今月のケーキ」・・・「シューバナナケーキ」 300円



## 4月の予定

10日(火)

休館日



バナナとカスタードクリームをシュー皮ではさみ、アクセントにほんのり苦いチョコレートを利かせた、年代を問わず楽しめる味わいです。



## 今月のお気に入り・・・「春に読みたい絵本」

～ 「わたしのワンピース」「おやゆびひめ」「おやゆびちーちゃん」「ぐいとぐらとくるいくら」「たんぽぽ」などなど ～



40年以上も前に出版されている「わたしのワンピース」。懐かし～と思われる方も多いのではないのでしょうか? ずっと愛され続けているのは、わくわくする楽しいお話と素朴で優しいタッチの絵が、子どもの心をとらえて離さないのだと思います。春というと真っ先に思い浮かぶ絵本です。

また春の花のチューリップにそっくりな花から生まれてきたおやゆびひめ。いろいろな出版社からたくさんの絵本が出ていますが、今回その中から4冊紹介します。作者アンデルセンの母国デンマークの画家スペン・オートー、スウェーデンの絵本作家エルサ・ベスコフ、そして堀内誠一さんが描いた「おやゆびちーちゃん」、3つともヨーロッパの香りにあふれて、原作の雰囲気を実に忠実に伝えていていると思います。そして、いわさきちひろさん。美しく優しい絵に引き込まれます。訳も含めいろいろと見比べてみるのも面白いですよ。



## 今月の本棚・・・「林明子の世界」

～ 「はじめてのおつかい」「とんことり」「こんとあき」「おつきさまこんぼんは」「おふろだいすき」などなど ～



あるインタビューで「抱きしめたくなる子どもを描きたい。」と言われていた林明子さん。本当に林さんの絵はどこまでも優しくあたたかく、子どもの小さな胸のハラハラもドキドキもワクワクも、そのまま伝わってきます。またストーリーとは関係のない隠し絵でも有名で、1つの作品の中だけでなく、いろいろな絵本の中に共通した人物やものたちが出てきます。「はじめてのおつかい」の主人公みいちゃんちの郵便受けの名前が「尾藤三」と書いてありますが、何て読むか知っていますか? 「おとうさん」と読むそうです。お父さんが全く登場していないので、ここで参加しているとのこと。ほんとに楽しいですね。

ちなみに「KiKi」の生みの親の角野栄子さんの「魔女の宅急便」の挿絵も林明子さんです。



## ほっとフレイク

Rちゃんという1歳半になる女の子とお母さんがご来店。自分でフォークを使ってケーキを食べながら「おいしいね!」とこちらを見てにっこり。あまりにもしっかりしてお話も上手なので驚いていると、お兄ちゃんが3人おられるとのこと。なるほどたくましくなるはずですね。食べた後は、隣のイベントホールをお散歩。私もおいでと呼ばれ手をつないでもらって(笑)ひとまわりしました。



クリームが指先につくと、さりげなくおしぼりできれいにふき取る姿は、とても1歳半とは思えない仕草でした。3歳まで「あー」とか「うー」とかしかしゃべらなかつたような気がする一人っ子の我が息子に比べると、いまだにRちゃんが1歳半だとは信じ難い思いです。環境ってすごいですね。(環境だけじゃないか。)(^\_^)



# KiKiの広場

2012年 5月 1日

cafe NO.19  
KiKi



目に飛び込んでくる緑が、まぶしく美しく輝いて見える季節がやってきました。気持ちのいい風が吹く中オープンテラスの芝生の上に、新しくおかれたベンチに座って味わうコーヒーもまた格別です。

それにしても今年は、春の嵐がすごかったですね。おかげで、KiKiのメニューボードが何度も倒れ、とうとう壊れてしまいました。1年と7か月、KiKiの顔としてお世話になりましたが、お疲れさまとお礼を言ってお別れし、新しいメニューボードと選手交代しました。なかなかかわいくてユニークなニューフェイスです。どうぞよろしくお祈りします。



また、夏季限定の新メニューもできました。「**黒豆炭酸ジュース**」です。黒豆ジュースと「ペリエ(炭酸水)」をドッキング。シュワッとした炭酸が爽やかな、夏らしい飲み物です。おいしいですよ。

5月の予定

8日(火)	休館日
-------	-----



「今月のケーキ」…「**ストロベリーケーキ**」 300円



しっとり感のあるスポンジに、甘さを控えたいちごクリームをはさみ、ダイスカットのいちご果肉をトッピング。新鮮ないちごと、たっぷりの生クリームをお楽しみください。



今月のお気に入り…「**ねこが出てくる絵本**」

～「いたずらこねこ」「100まんびきのねこ」「タンゲくん」「黒ねこのおきゃくさま」「ちいさなねこ」などなど～



絵本の主人公には、さまざまかわいくてユニークな動物たちが出てきますね。今回は「ねこ」が出てくる絵本を選んでみました。よく「あなたはネコ派? イヌ派?」と聞かれますね。私はどちらかというとならぬが、絵本の中の「ねこ」たちは、なんてかわいいんでしょうかと思えます。「いたずらこねこ」は、始めから終わりまで小さな庭の同じ場面での出来事が描かれています。好奇心旺盛ないたずらなこねこが、生まれて初めて出会ったかめにどぎまぎしながら近づいて行く様子が楽しくて、最後はどうなるんだろうとドキドキします。ページをパラパラめくるとまるで動画のように見えるのも面白いですよ。

たくさんのかわいくてにくめないねこたちに出会ってくださいね。



今月の本棚…「**赤羽末吉の世界**」

～「スーホの白い馬」「ぞら、にげろ」「かさじぞう」「ももたろう」「かちかちやま」「だいくとおにろく」などなど～




小学校の教科書に載っている「スーホの白い馬」で有名な赤羽末吉さんは、50歳で絵本デビューされたそうです。「ぞら、にげろ」は、道を急ぐ旅人が野良犬に追っかけられると、一番驚いたのは旅人ではなく、旅人の着物の模様の小鳥たち。着物から一目散に逃げ出して、かくして旅人と鳥たちの追いかっけっこが始まります。赤羽さんが「絵を読んでください。」と言われるように、ほとんど文字なしの絵本は、春夏秋冬を歌舞伎調の絢爛豪華な背景で描かれており、粋でおしゃれな絵本です。黒子もしっかり出てきて、いつもとちょっと違った絵本です。



ほっとフレイク

時々隣のイベントホールでカラオケの発表会があり、多い時は50人以上の方が歌われます。先日も歌い終わった男性の方が来られて、次は県西部の代表目指して頑張ると言われていました。(すご〜い!)

切切切切たちはきれいにドレスアップされていて、みなさんとても若々しくてお元気です。好きなことを楽しむとともに、やはり大きな声をお腹から出すというのは、心にも身体にもいいのですね。

ただ1つ  KiKiとイベントホールの堺はドア1枚なので、大音量の音楽と歌がとてもよく聞こえてきます。カラオケがあった日は、寝るまで頭の中を「演歌」がぐるぐるまわっています。(^\_^)





# KiKiの広場

2012年 6月 1日

cafe NO.20  
KiKi



木陰が嬉しい季節になりましたが、その木々の中では鳥たちがとってもにぎやかです。この春はメジロの姿を殆ど見ることがなく、何かあったのかと心配しました。ただ他の鳥たちにとって、今は恋の季節なのでしょう。ウグイス・ハクセキレイ・スズメ・シジュウカラ・ヒヨ・ヤマ（キジ）バトなどが、元気いっぱい鳴いています。うまく相性のいい相手を見つけて、楽しい家庭を築いてほしいですね。（笑）

また、先月登場した夏季限定の新メニュー「黒豆炭酸ジュース」が好評です。なので、夏季限定ではなくメニューの中に入れることになりました。どうぞ引き続き、爽やかな味をお楽しみください。

## 6月の予定

1 2 日 (火)	休館日
-----------	-----



## 「今月のケーキ」…「ダブルベリーパイ」 300円



ブルーベリーとクランベリーの甘酸っぱさと、パイ生地、クッキー生地の香ばしさを、アーモンドクリームのコクが調和したおすすめの一品です。



## 今月のお気に入り…「雨の日は楽しくなる絵本」

～「雨、あめ」「ふるやのもり」「ピーターのおかみ」「もくもくやかん」「おじさんのかさ」などなど～



小学生の頃、雨降りの帰り道わざと傘をささずに濡れて帰るのが好きでした。友だちと水たまりの中に入って長靴をぐちょぐちょに濡らしては、よく叱られていました。「雨、あめ」は、そんな気持ちがよみがえってくるような、雨の日の楽しさ美しさが生き生きと描かれている言葉のない絵本です。

「ふるやのもり」は、おじいさんとおばあさんの家に忍び込んだ馬どろぼうとおおかみが、おじいさんとおばあさんの「この世で一番怖いものは『ふるやのもり』だ。」という会話に震え上がって勘違いの暴走を始める、とっても愉快な昔話です。さて、『ふるやのもり』とは、いったい？猿の顔が赤いわけもなぜかわかっちゃいます。

## 今月の本棚…「片山健の世界」

～「きつねのテスト」「とんとんとんとん」「むかしむかし」「もいのおぼけ」「わたしがおひさまだったら」などなど～

決してかわいくなくて、でも迫力があって味わい深く憎めない片山健さんの絵とお話、「タンゲくん」がお気に入りの KiKi スタッフ Y ちゃんのリクエストです。「きつねのテスト」は、きつねが女の子に二択問題を出すのですが、いったいなんなんだというような正解が待っています。奇想天外なお話に片山さんの絵がみごとにマッチして、最後はどうなるんだろうとぐいぐい惹きこまれます。「とんとん とんとん」は、究極の子ども像かもしれません。長男との生活から生まれたそうですが、この頃の子どもが持つはちゃめちゃなパワー・・・特に新米ママにとっては、思わずうなづいてしまう絵本ではないでしょうか。

谷川俊太郎さんとの初めての共作絵本「むかしむかし」は、美しく力強い詩と絵に、遠い記憶を呼び起こされるような深さを感じました。どちらかと言うと大人に読んでほしい本です。



## ほっとフライク

家族と共にやって来たIくんという2～3歳くらいの男の子、私を見て突然、「お母さんなの？」と聞きました。間違いではないので、「そうよ。」と答えると、それから私に話しかける時、「ねえ、お母さん」と言われました。「ギャロップ!!」という絵が動くしかけ絵本を見せると、とても気に入ったようで、テーブル席から1人カウンター席にやってきて、私に見せながら読みました。途中からなぜか私の呼び名は「ママさん」に変わりました。「ママさん、次の本は？」と聞かれ、「次の本はまだ置いてないのよ。」と言うと、「じゃ、今度買っちゃってね。」とお願いされました。なんともかわいらしいIくんの言い方に、その場にいた人みんな、大爆笑でした。(\*^\_^\*)



# KiKiの広場

2012年 7月 1日

cafe NO.21  
KiKi

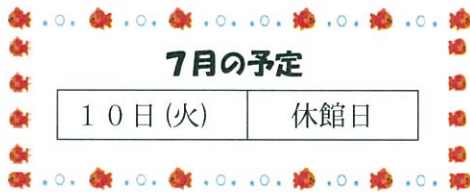


今年の梅雨明けは昨年に比べると随分遅いとのこと、雨量も所によってはかなり多いようです。このあたりはたいした被害を受けていませんが、すでに大きな被害を受けているところがたくさんあります。何もなくて、「あーよかった！」と安心するだけでなく、どこかで苦しみ悲しんでいる人がいるということのを心にとめて、日々の生活に感謝しながら過ごしたいと思います。優しく降ってねと祈りながら。

・**夏季限定メニュー再登場!** 昨年とっても人気のあった「マンゴージュース」**350円**です



同じく好評だった「マンゴークーキ」は、今年はないそうです。(KEY COFFEE さんより) 残念!!



## 7月の予定

10日(火)

休館日



## 「今月のケーキ」・・・「アフリコッタルト」**300円**



クッキー生地タルト台に、アーモンドクリームとアフリコッタートをのせて香ばしく焼き上げた、甘酸っぱく爽やかな味わいのタルトです。



## 今月のお気に入り・・・「夏だね～!!」っていう本」

～「ウエズレーの国」「はちうえはほくにまかせて」「ガンピーさんのふなあそび」「スイミー」「みずまき」などなど～



夏休みは、いくつになってもワクワクするもの。子育て中の親にとってはついに来たかー!と感じかもしれませんが、その年の夏は一度しかありません。やはり心に残る特別なものであってほしいですよね。「ウエズレーの国」は、変り者と思われている主人公が、すばらしい自由研究を思いつき、「自分だけの文明」を作り出すという壮大な物語です。不思議な作物を育て、その植物を食べるだけでなく、服・帽子・寝る所、そして遊び、文字まで作ってしまう。最後がまたステキ!なんです。真夏の暑さの中、実に爽快な絵本です。「どろんこハリー」の作者コンビの「はちうえはほくにまかせて」は、アメリカならではのとっても楽しい本です。青と黄、それを重ねた緑だけを使った絵は優しくて、植物の生命力が美しく描かれています。



## 今月の本棚・・・「虫の世界」

～「アリからみると」「だれだかわかるかい?」「むしのあいうえお」「庭仕事の素敵な友だち」「ほったくん」などなど～



アリの世界を体感できる「アリからみると」は迫力満点の写真絵本。同じく写真絵本の「だれだかわかるかい?」の表紙は、照れくさそうに頭をかいているような表情豊か(?)なクビキリギスのなんとも愉快的な顔が。いろいろな虫の顔のドアップが出てきますが、まさしく「仮面ライダーだー!」て叫びたい写真も。その昆虫写真家の今森光彦さんの切り絵の昆虫図鑑「むしのあいうえお」は、緻密で繊細、素晴らしいの一言です。俳句調のリズムのよい言葉が添えられており、子どもも大人も楽しめます。



## ほっとフライク

先日「KiKi」が、県内には珍しい絵本カフェということで、ある情報番組の取材を受けました。私たちが週2回通っている小学校での読みがたりの様子も撮影されたりして、3日間に及ぶ取材でした。



店内では、3組の親子連れのお客さんが、わが子に読んでおられる様子や、子どもたちが1人で読む姿、2人で1冊の本を一緒に覗き込んでいる様子、たくさんの絵本の前でいろいろな本を手にとって、どれにしようか悩んでいる姿などを撮られていました。

その中で2年生のNくん向记者の方がこんな質問をされました。「このお店のどういうところが好きですか?」虫が大好きなNくん、「科学する心の絵本」コーナーからよく昆虫図鑑や虫に関する本を選んで見ているので、そういう系の答えが返ってくるかなと思っていたら、なんとNくんの答えは、「おいしい。」でした。(笑!)

ロールケーキがお気に入りということで・・・Nくん、いい味出しています。＼(^。^)/





# KiKiの広場

2012年 8月 1日

cafe NO.22  
KiKi



昨年9月に1周年を記念して登場した入り口のアーチですが、今どうなっているかと言うと・・・青のイルミネーションで縁取りされ、ブライダルベールやペチュニア、アイビー、シダなどのハンキングが吊るされています。せっかくのアーチなのでつる性の何かを這わせたいなと思っていたところ、春にお花のKさんにジャスミンの苗をいただいたので、芝生の中に植えました。そのつるがやっとアーチまで伸びてきて巻きつき始めました。暑い夏を乗り切ってこれからどんな風に伸びていくか、どうぞ期待！！

## KiKiの8月の予定

13日(月)	お盆休み
～15日(水)	

## 「今月のケーキ」・・・「りんごのタルト」 300円



カットの大きいりんごをふんだんに使い、シャキシャキ感があって、タルト生地も香ばしく仕上がっています。ボリュームがあり、食べごたえじゅうぶんです！

## 今月のお気に入り・・・「夏だね～！！っていう本 Part2」

～ 「かえるの平家ものがたり」「ホームランを打ったことがない君へ」「にんぎょひめ」「みさき」「およく」 などなど ～



「げんじぬまの なつのおさき～」ではじまる「かえるの平家ものがたり」は、源氏と平家をかえるとねこにおきかえた壮大でユーモアたっぷりの絵本です。琵琶法師風の語り調がリズムカルで、読んでも聞いても心地いい響きです。笹の葉っぱのひたたれやくるみの殻のかぶと、武器はとくさの弓やたんぼぼの槍といった一匹一匹の装束や表情、沼の植物の一本一本までが丁寧に繊細に描かれていて、まるで絵巻物を見ているようです。そして、全ての野球少年と大人になった野球小僧たちに贈りたいのが、「ホームランを打ったことがない君に」です。夢をあきらめずに、ひたむきに追いかけることの素晴らしさが伝わってきます。

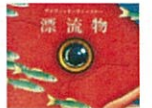


## 今月の本棚・・・「字のない絵本」

～ 「旅の絵本」「漂流物」「あかいふうせん」「はるにれ」「ぞうのボタン」「聖なる夜に」「スノーマン」 などなど ～



安野光雅さんの「旅の絵本シリーズ」は、ヨーロッパの美しい風景の中を旅人と一緒に旅するだけでなく、よく見ると、赤ずきんちゃんやおおきなかぶなどの絵本の主人公が、ミレーやゴッホの名画が、ベートーヴェンなどの歴史上の人物が、そして「シェーン、カムバック！」などの映画のワンシーンが・・・だまし絵やかくし絵もいっぱいあって、遊び心がちりばめられたたまらなく楽しい本です。



テイヴィッド・ウィースナー（個人的に大好きな作者で、来月改めて特集します。）作の「漂流物」。

「繊細さ、驚異、健やかさ、可笑しみ、海岸、大気、色、日ざし、物語、そして、時間。ここにはそのすべてがあります。一江國 香織」本の帯に書かれたメッセージです。魚の眼の中に水中カメラが映っているんですが、そのわけは？まさしくセンス・オブ・ワンダー（神秘さや不思議さに目をみはる感性）の世界です。

## ほっとフレイク

新たな将棋ボーイたち参上！・・・最近人数が増えてにぎわっている様子の子ども将棋教室。新しい人たちも KiKi にやってくるようになりました。私が来るのを待って一緒にオープン準備を手伝ってくれる人もいます。（い、いいのかな？）今 KiKi に来る人たちは将棋を始めたばかりで、時々息抜きがしたくなるみたいです。絵本だけでなくあやとりや知恵の輪などでしばらく遊んでから、戻っていきます。先日小さな男の子に「ママさん」と呼ばれましたが、今回はある将棋ボーイくん「マスター、この知恵の輪やってみてください。」と言われ・・・

（へっ？マ、マスター??）(^\_^;) 慣れない呼び名に、返事もしどろもどろになっちゃいましたが、カクテルでも作ってやろうかって気分になりました。（できないけど・・・笑）

今回この将棋教室に通う小学校チーム（3人）が県代表となり、大阪で善戦してきたそうです。夏休みみしょっぱなから、とってもいい経験ができて、よかったですね。新米ボーイくんたちもファイト！！





# KiKiの広場

2012年 9月 1日

cafe NO.23  
KiKi



「ヒストリア字部」と共に「cafe KiKi」も、もうすぐ2周年を迎えます。最初は2百冊だった絵本も今では絵本と児童書合わせて6百冊以上になりました。店内はペンダントライトがついたり本棚が増えたり、外にはアーチやオープンテラスができたりと、少しずつ変化いえ進化していています。ただスタッフメンバーはオープン当初と変わらず、みんなますます元気に仲良く頑張っています。これからも支えていただいている周りの方への感謝の気持ちを忘れずに、自分自身も進化していけるよう努力していきたいと思ひます。

## 9月の予定

11日(火) 休館日

## 「今月のケーキ」…「マロンケーキ」300円



マロンクリームをカラメル風味のスポンジではさんで、クラッシュマロンとマロンペーストをトッピングした、昨年も好評だったマロンケーキです。

## 今月のお気に入り…「おいしいちゃん・おばあちゃんの本」

～「エマおばあちゃん」「ほくのおいしいちゃんのかお」「うさこちゃんのおいしいちゃんとおばあちゃん」「にげだしたひげ」など～



敬老の日にちなんで特集を組んでみました。昔ばなしを始めいろいろなおじいちゃんおばあちゃんができます。「エマおばあちゃん」は、1人暮らしのおばあちゃんにすてきな楽しみができるお話です。バーバラ・クーニーの絵を楽しみながら、こんなおばあちゃんになりたいと思う絵本です。

「ほくのおいしいちゃんのかお」は写真絵本です。俳優の故加藤嘉さんのいろいろな表情を撮ったものですが、添えられたシンプルな文章と優しくマッチしていて、見ているだけで温かい気持ちになります。



## 今月の本棚…「テイヴィッド・ウィズナーの世界」

～「アートとマックス-ゴキゲンなゲイジュツ」「夜がくるまでは」「セクター7」「1999年6月29日」などなど～



変幻自在というかウィズナーの全く形にとらわれない発想を、ただただ強烈にすごいと思っています。そして絵本界のアカデミー賞と言われるコールデコット賞を3度も受賞している、緻密で手にとったら大人でもほしくなる絵もすばらしいです。「アートとマックス」は、まさしくゴキゲンなゲイジュツを見せてくれます。う～ん、絵を描くってめっちゃくちゃ楽しそう！と絵が描きたくなります。「夜がくるまでは」は、がらりとかわってモノクロで迫力満点の不気味な絵です。西洋建築物に見られるガーゴイル（怪物などをかたどった彫刻からなる雨どいのこと）が、夜になると徘徊するというお話です。最初は怖いと思ったガーゴイルたちが、仲間同士ぼやきあったり、ふざけあったりして、だんだん哀愁を漂わせてきて憎めない存在になります。なんとも不思議なウィズナーの世界に酔いしれてみてください。



## ほっとフレイク

お盆休み直前に2組のお客さまがご来店。1歳半の女の子と1歳3か月の男の子とそれぞれのお母さん。久しぶりに会ったという若いお母さん同士、話の花が咲きおおいに盛り上がっていました。小さなカップルも木の椅子に座り、絵本を見たり折り紙のコマで遊んだり、その様子をお母さんたちが写真を撮ったりととっても楽しそうでした。そのうち、お菓子をお母さんからもらった男の子がよちよちと歩きながら食べようとしたので、「ちゃんこして食べるよ。」とお母さんが一声。すると男の子はペタンとその場の床に座って食べ始めました。「あらあら椅子があるのに。まっいいか、ここきれいだもんね。」とお母さんは離れたところでニコニコ。ところが今度はそのお菓子を床に落としてしまいました。と、もう1人のお母さんがさっと側にいってお菓子を拾い、ふうふうと息を吹きかけて、「ハイ、3秒ルール大丈夫！」と言って男の子に渡しました。男の子のお母さんも「そうそう、平気平気！」とにっこり。最近やたら除菌だ、消毒だ、殺菌だなんてちょっぴり神経質になりがち傾向の中、なんともおらかなお母さんたちの様子になんだかほっとしました。(\*^。^\*)





# KiKiの広場

2012年 10月 1日

cafe NO.24  
KiKi



9月で満2歳になった「ヒストリア字部」と「cafe KiKi」です。ジャスミンのつるも、今ではアーチの一番上まで伸びてきて、どこが入口かよくわからなかったオープン当時のことを思うと、これまでの日々の積み重ねをつくづく感じます。

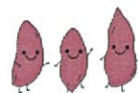
急に朝晩寒くなったり、でも日中は暑かったり、9月末には大型台風がやってきたりと、一番気候の変化の激しい時かもしれません。どうぞみなさん、体調に気をつけられて、ヒストリアで催されるいろいろなイベントにぜひお越しください。もちろん、KiKiにも・・・スタッフ一同心よりお待ちしております。

10月の予定	
9日(火)	休館日



## 「今月のケーキ」・・・「さつまいもパイ」300円

国産の紅あずまを贅沢に使用し、素材の風味を活かしてしっとり焼き上げられた、秋にぴったりのパイです。



## 今月のお気に入り・・・「秋に読みたい絵本」

～ 「どんぐりぼうやのぼうけん」「あおい玉あかい玉しろい玉」「もいのなか」「さんまのおふだ」 などなど～



小人や妖精のお話を得意とするベスコフの「どんぐりぼうやのぼうけん」は、小さな仲間と共に秋の森の自然が生き生きと描かれています。よく見ると表紙の「どんぐりぼうや」の題字の濁点は、小さなどんぐりなんです。とてもかわいいですよ。「あおい玉あかい玉しろい玉」は、「さんまのおふだ」の話に似ていますが、とにかく太田大八さんの描くやまんばが不気味で迫力満点。怖さとお話の面白さにぐいぐい惹き込まれ、最後まではらはらどきどきする絵本です。

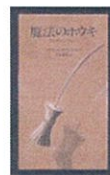


## 今月の本棚・・・「魔女・魔法の世界」

～ 「魔女からの手紙」「魔法のホウキ」「魔女図鑑」「まほうつかいのでし」「北の魔女ロウヒ」 などなど～



10月31日はハロウィン。ヨーロッパの収穫感謝祭が起源のようですが、最近日本でも楽しむようになってきました。ハロウィンと言えば魔女。絵本やお話の世界にもいろいろな魔女が出てきます。「魔女からの手紙」は、20人の画家（例えばディック・ブルーナ、五味太郎、スズキコージ、長新太、スーザン・バーレイなど）が自由に描いた魔女の絵に、後からそれぞれの魔女になりきってその絵にぴったりの手紙を書いた角野栄子さん。すごいです！「魔法のホウキ」は、オールズバーグの作品で、絵もセピア調のモノトーンで最初は怖いお話でどうなるんだろうと思っていたら、主役のホウキの仕草がなんとかわいくて、最後はずっと側にいてほしいと思うくらい愛おしくなります。「魔女図鑑－魔女になるための11のレッスン」は、魔女になりたい人にぜひおすすめの楽しい本です！



## ほっとフレイク

嬉しい報告！！7月から産休中だったスタッフのUちゃんに、無事男の子が生まれました。ヒストリアの館長にとっては孫(^\_^);、私たちにとっても甥っ子みたいなもの、新しい仲間みんな大感激！！初めてかけがえのない命・愛おしさに出会えた喜びは、言葉にならない感動だと思います。

今子育て奮闘中のUちゃん、いろいろ悩むことも多いでしょう。私もわが子が生まれた時、横で寝ている姿を見ては、息をしているだろうかと常にドキドキしていました。なかなかうまくいなくて切なくなることもいっぱいありますが、今思うとその一瞬一瞬が、やっとなれた親として宝物のような時間でした。



Uちゃんもきっと、わが子Iくんと一度きりの大切な時間を過ごしていることでしょう。抱っこできるのをとっても楽しみにしています。あれ？もしかしたら私にとっても館長と一緒に、孫？？？^^;



# KiKiの広場

2012年 11月 1日

cafe NO.25  
KiKi



出入口の大きな鉢に植えてあるフェイジョアの木に、今年は実がたくさん生りました。暑い夏の間、毎日朝夕交替で、せっせと水やりしたかいがありました。風に吹かれて面白いようにコロコロ落ちてきます。先日も木の側に立っていると、ポーンと頭の上に落ちてきてびっくり！結構痛かったです。でも元気に育ってくれているのを見るのは嬉しいですね。おまけにそのかたい実の中身はとってもおいしいんです。内緒ですけど♡

## 11月の予定

13日(火)	休館日
--------	-----



## 「今月のケーキ」…「モンブラン」300円



クッキー生地は、北海道産えびす南瓜のペーストとアーモンド粉を練り込んで焼き上げ、フランス産高級マロンペーストをたっぷり使用したモンブランです。

## 今月のお気に入り…「うさぎが出てくる絵本」

～「にんじんケーキ」「うさぎのマシュマロ」「うさぎとかめ」「うさぎのみみはなぜながい」などなど～



春に猫の絵本をご紹介しましたが、今回はうさぎの絵本を集めてみました。「にんじんケーキ」は、うさぎの新婚さんが夫婦漫才のようなやりとりのあげくけんかになって、最後は仲直りしてにんじんケーキを食べるといってお話です。若いカップルが初めて一緒に生活する、とまどいやぎこちなさが描かれているかわいい本です。「うさぎのマシュマロ」は、猫のオリバーが初めて見るうさぎにびくびくしながらも、無邪気な赤ちゃんうさぎと触れ合ううち、わが子のようにかわいがるようになるお話です。何といても、マシュマロの絵と仕草が愛らしくて、オリバーがしたように抱きしめたいくなる絵本です。



## 今月の本欄…「グリム童話の世界」

～「七つのからす」「つぐみのひげの王さま」「こびとのくつや」「灰かぶり」「ねむりひめ」「ラプンツェル」などなど～



グリム兄弟が、近所の娘さんたちから聞き書きしたおはなしを中心にまとめたのが、「グリム童話集」です。この本が出版されて、今年で200年です。本当はきちんと訳されているものの語りを聞くのが一番いいのですが、その内容にあったすばらしい挿絵がある絵本もたくさんあります。

昔ばなしの残酷性のみを強調したり、教訓として勝手に解釈を付け加えたりされるのを見ると悲しくなりますが、この機会になぜグリム童話がずっと愛されてきたのか知ってもらえればと思います。どうぞ、本物のグリムの世界を味わってみてください。



## ほっとフレイク

お父さんと8か月の赤ちゃんがご来店。パパと赤ちゃんのペアというのは初めてです。バギーの中で大人しくしている赤ちゃんが目が合ったので、ジジの指人形を動かすと興味津々で、お父さんが絵本を見せても、「ぜんぜん見てないし。」と言われるくらいずっとこちらを見ていました。(余計なこととしてごめんなさい。) そのうちぐずりだしたので、お父さんが一生懸命あやし始められました。ところがどんどん泣き声が激しくなってお父さんも焦り始めた頃、突然、「ママー！！」と赤ちゃんが叫びました。「えっ？今ママーって言った？」「えっ？えーっ？」とお父さん。ちょうどスタッフの交代の時間でYちゃんも来ていたのですが、私たちに向かって「今、ママって単語言いましたよね？」と聞かれたので、二人してブンブンと頭を立てに振ると、「わあ～、初めて単語しゃべった～！」と感動されていました。その後も泣き止まないの、抱き上げてあやしておられましたが、「こうやって僕が抱っこして寝てくれたことないんです～」と心細そうなお父さん。でも、ついにその瞬間はやってきました。



寝ちゃったのです。「あ～、初めて寝た。すごい！今日初めてのことばかり！」と、とっても嬉しそうなお父さん。私たちも胸をなでおろしました。ほんの数十分ですが、若いお父さんと一緒にハラハラドキドキ、そして、ほっとするような温かくてなんだか懐かしい出来事でした。(^-)-☆



# KiKiの広場

2012年 12月 1日

cafe NO.26  
KiKi



あっという間に12月がやってきました。師走といふとなんだか気忙しく落ち着かない感じですが、やっぱりこの時期、何と言ってもクリスマス。いくつになっても、大人げないと言われても、どうしてもワクワクしてしまうのは私だけではないと思います。KiKiの中も今年は12月が待ちきれずに、11月の上旬からクリスマスバージョンにしてしまいました。年齢に関係なく楽しんでいただけたらいいなあと思います。

そして、2012年もおかげさまで、なんとか無事に終わろうとしています。この1年もたくさんの方との出会いに感謝し、来年もみなさんにとっていい年になりますよう、心からお祈り申し上げます。

**12月の予定**

9日(日)	13時より営業
11日(火)	休館日
29日(土) ~6日(日)	年末年始休み



## 「今月のケーキ」…「ガトーショコラ」300円



シンプルなものにも深い味わいがある定番の人気者です。ベルギー産のチョコレートを使用し、甘味を抑えた濃厚な口当たりで手作り感あふれる逸品です。温かいケーキとしてもお召し上がりいただけます。

## 今月のお気に入り…「クリスマスの絵本」

～「賢者のおくりもの」「ちいさなもみのき」「クリスマスのふしぎなほこ」「ティリーのクリスマス」「ミシュカ」などなど～



「最後のひと葉」の作者オー・ヘンリー作の「賢者のおくりもの」は、貧しいながらも愛し合って暮らしている若い夫婦が、お互いのクリスマスプレゼントの為に、自分たちの一番大切な宝物を手放してしまうというお話です。切ないくらいお互いを思いあう二人の姿に感動します。その宝物とは？そしてお互いが用意したプレゼントとは？心に響く素敵なお話です。大人の方にもぜひ読んでもらいたい絵本です。

## 今月の本棚…「クリス・ヴァン・オールズバーグの世界」

～「まさ夢いちじく」「魔術師アブドゥル・ガサツィの庭園」「西風号の遺難」「名前のない人」「ゆめのおはなし」など～  
「急行「北極号」」「ジュマンジ」など、映画にもなったことで有名なC・V・オールズバーグの作品を取り上げてみました。訳は村上春樹さんが多く、題名を見ただけでも、いったいぜんたいどんな話？これって絵本？って思いますが、まさしくその期待を裏切らないというか、はあ～そうきたか～と最後までぐいぐい惹きこまれるお話と絵です。子どもももちろん楽しめますが、本当の面白さは大人の方向けかなと思います。



## ほっとフレイク

驚きの忘れ物…宇部祭りの日の朝、イベントホールの植木鉢を動かそうとしたところ、根本で何やらうごめく物が。それはなんと…ビニール袋に入った黒い金魚！！ぐしゃっとなつぶれた袋の水の中に7匹の黒い出目金。 「ヒエーッ！」「ハー？！」という感じでめちゃくちゃびっくりしました。あわててバケツに入れ替えると、かわいそうに1匹は死んでいましたが、あとの6匹はパンのくずをやると、あっという間に完食するくらい元気になりました。一番元気な出目金に「てっちゃん」と命名し、3日間KiKiのバケツの中でみんなで可愛がった後、スタッフYちゃんのおうちにもらわれていきました。あんな状況の中生き抜いたてっちゃん率いる6匹は、今もとっても健やかに過ごしているそうです。あ～よかった！(^\_^)



竹馬の友、再び参上！…竹馬の友のみなさんの、お仲間の個展が17日間に渡ってイベントホールでありました。昨年の夏の個展以来、すっかり常連さんになってくださったみなさんですが、今回も家族の方やお友だちを連れて何度となくKiKiに遊びに来てくださいました。個展も大盛況ですばらしいものでしたが、同時にそれを支え、盛り上げようと力を合わせておられるみなさんの様子に、幼馴染っていいなあとまた改めて思いました。齢を重ねてふと周りを見渡した時、気の合う友がいるってこんなに幸せなことはないなあと思えました。



# KiKiの広場

2013年 1月 7日

cafe NO.27  
KiKi



## あけましておめでとうございます！

今年は巳年、日常的には何かと嫌われ者のへびですが、岩国の白蛇のように縁起がいいとか、神様の使いだとか、へびにだっていいイメージはたくさんあります。何ととっても脱皮をして成長するって、羨ましいというか何もかも脱ぎ捨てて出直することができるって、いいなあって思います。でも人間はそうはいきません。今年は我が身に蓄積されたどんなものも糧として（と思いたい！）、小さな脱皮を試みつつ、少しでも前進できるよう頑張りたいと思います。みなさま、本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

1月の予定	
8日(火)	休館日



「今月のケーキ」・・・「かぼちゃの焼きケーキ」300円  
バターをたっぷり使用した生地にかぼちゃを練り込み、かぼちゃスライスと甘く煮た小豆をトッピングした、手作り感あふれる素朴なケーキです。温かいケーキとしても美味しくいただけます。



### 今月のお気に入り・・・「冬に読みたい・出会いたい絵本」



～「ゆきむすめ」「かさじぞう」「みるなのくら」「アンナの赤いオーバー」「ゆうかんなアイリーン」などなど～

「おおきなかぶ」の内田莉紗子・佐藤忠良のコンビと、岸田衿子・スズキコージの2つの「ゆきむすめ」とけてなくなる雪のように切ないお話ですが、心の奥深く積もる雪のように、心の中にずっと残ります。どちらもすてきな絵本です。それぞれのゆきむすめに会ってみてください。



### 今月の本棚・・・「へびが出てくる絵本」

～「へびのクリクター」「へびのひみつ」「どいてよへびくん」「へびの子しどこ」「からすのカーさんへびたいじ」など～

どうひいき目に見ても、「かわいい」とは言い難いへびですが、「すてきな三にんぐみ」の作者トミー・ウンゲラーの「へびのクリクター」は、とってもおしゃれでかわいくて賢いんです。飼い主のポドさんに子どものように可愛がられ、町中から愛され尊敬されたクリクター。読み終わったらへびを飼いたくなるかもしれません。そして



「へびのひみつ」は、いろいろなものを丸呑みする様子など迫力満点の写真絵本です。へびの口があんなに大きくあくなんで、へびの目がウロコで覆われていてその目も脱皮するなんて、知っていましたか？へびが苦手な人にもぜひ読んでもらいたいです。好きになるかどうかはわかりませんが・・・



### ほっとフレイク

魔女？・・・時々夕方1人で来られて、ゆっくり絵本を読んで帰られる若くてかわいい女性のお客さま。角野栄子さんの本も大好きだと言われて、「魔女からの手紙」などを手に取って読んでおられました。ふと顔を上げ、しみじみと私を見て、「なんかほんとに魔女って感じですね。」とにっこり。えっ？確かにその日着ていた服は黒だし年季の入った顔かもしれませんが、魔女みたいっていったい？う～ん、まあ「魔女とか好きなんです。」とも言われていたので、まっ、ほめ言葉ということで・・・(^\_^)



Uちゃん2世・・・9月に生まれたスタッフUちゃん2世のIくんが、初めてKiKiにやってきました。11月に自宅へお邪魔した時は、まだふにゃふにゃ？でみんながおそろおそろ抱っこしているって感じでしたが、今回は首もちょっぴり座っていて抱きやすくなっていました。でもまだ何と言っても人間になって、3か月。手も足も何もかもちっちゃくって、もうもう「きゃー！かわいい～！！」です。つま先までのつなぎの服を着て、ぬいぐるみみたいなIくん、みんなの腕から腕に移動する間に眠ってしまいました。(♡ 大物の予感 ♡) きっと毎日いろいろな成長を、優しいイケメンパパときれいなUちゃんママに見せていることでしょうね。次回会うのが楽しみです。今年は、ヒストリアの優し～いおじいちゃんにも抱っこしてもらおうね。(\*^^)v





# KiKiの広場

2013年 2月 1日  
cafe NO.28  
KiKi



我が家の庭で葉っぱばかり伸びていた水仙が、ようやくぼつぼつと咲き始めました。花の少ないこの時期ですが、KiKiの中は相変わらず花でいっぱい、美しい色でいっぱいです。竹馬の友のYさんからいただいた万両と南天の赤と緑。お花のKさんから一足早い春が届きました。いつも12月から咲き始めているという水仙の白、枝垂れ黄梅とロウバイの黄色、梅のつぼみのピンクなどなど。寒い時期だからこそ、色も凝縮され洗練されひととき鮮やかになるのでしょうか。届けてくださる思いと生きた花たちに、毎日癒され寒さも吹き飛んで、心も身体もぼっかぼっかしています。感謝です♡



🍰「今月のケーキ」…「チョコレートケーキ」300円 🍰  
柔らかいココアスポンジにカカオ分 62%の甘さを抑えたチョコレートクリームを重ね、アクセントのくるみとチョコレートクランチの、食感の絶妙なバランスが楽しめる本格派チョコレートケーキです。



## 今月のお気に入り…「バレンタインの季節に読みたい絵本」

～「こねこのチョコレート」「しろいうさぎとくろいうさぎ」「天使のかいかた」「とんことり」「とつてもたぬきさん」など～



バレンタインというと何を思い浮かべますか？チョコレート？愛の告白？ちょっぴり切なく甘酸っぱい想いがよみがえってくる方も？「こねこのチョコレート」は、チョコレートの魅力と誘惑、そして家族の優しさに包まれる絵本です。残りの本は、相手に自分の想いを告げるということ、一生懸命考えるとつてもかわいい絵本です。



## 今月の本棚…「鬼が出てくる絵本」

～「ソメコとオニ」「まゆとおに」「ゼラルダと人喰い鬼」「おにのくび」「ふくほうちおにもうち」「じごくのそうべえ」など～

本当は怖い鬼たちが、小さな女の子に出会って、いつのまにかかわいらしい鬼になってしまいます。ソメコはとつてもおてんばで、まゆはすごい力持ち、ゼラルダは料理上手で「七面鳥の丸焼きシンデレラ風」なんて作っちゃいます。どれもとつても楽しいお話です。「おにのくび」は、結構怖い昔話です。「ふくほうちおにもうち」は、能天気で人のいいお父ちゃんに、遠慮深く礼儀正しい鬼たち、そしてどんちゃん騒ぎが大好きな福の神、どれも憎めないキャラクターに笑ってしまいます。どうぞいろいろな鬼に出会ってください。



## ほっとフレイク

時々コーヒーを飲みに来てくださる男性のお客さま。いつも新聞をゆっくり読んでから、いろいろなお話をされます。先日は、2人の兄妹チルチルとミチルが出てくる、メーテルリンクの童話劇「青い鳥」についてお話しされました。人は幸せを求めて青い鳥を探し続けているが、果たして宝くじで大金が当たったら、それが自分の青い鳥なのか？きっとまた他の欲が出て、本当の青い鳥は別のところにいると探し始めるのではないだろうか。

自分は、今年初めて KiKi に来て、おいしいコーヒーを飲んだ時、「あ～幸せ。」と思った。今日もコーヒーを飲みながらふと前を見ると、水仙の花が活けてあった。今年初めて水仙の花を見ることができて、「あ～幸せ。」



と思う。「これが私の『青い鳥』です。」と言われました。店内にはもう1人カウンターに男性のお客さまがおられたのですが、2人で思わず、「そうですね。」と深く頷きました。

メーテルリンクの「青い鳥」も、幸せは遠くにあるのではなく、すぐ身近な日常生活の中にあると気付かせ、最後は飛び立ってしまいます。「豊かさ」や「本当の幸せ」とは、物やお金では決して得られるではなく、1人1人が本来持っている「優しさ」や「思いやり」そして「感謝する心」の中にあるんだなあと、改めて思いました。それを幸せと感じられる心こそ、本当の豊かさではないかなと思います。





# KiKiの広場

2013年 3月 1日

cafe NO.29  
KiKi



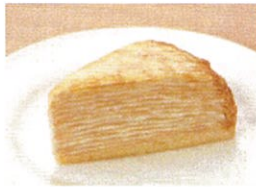
去年はメジロの姿を殆ど見られず何かあったかと心配しましたが、今年は梅の花が開く前から山茶花や椿の蜜を吸うメジロのかわいい姿を見かけ、ほっとしました。メジロたちにとっても去年は何か思うところがあったのでしょうか？あの日からもうすぐ2年が経とうとしています。もう2年、まだ2年、想像を絶する悲しみに言葉は見つかりません。各地で必死に悲しみに耐え頑張っておられる方たちのもとにも、少しでも一瞬でもほっとできるように、メジロたちに思いを届けてほしいと願わずにはおれません。

心も温かくなるような春が、早く来ますように！！

「今月のケーキ」・・・「ミルクレーフ」300円

## 3月の予定

12日(火) 休館日



1枚1枚丁寧に焼き上げたクレープ生地と、自家製カスタードクリームと北海道産生クリームを合わせたダブルクリームを15層に重ね、天面にナパージュを塗って仕上げた、定番人気のミルクレーフです。



## 今月のお気に入り・・・「トミー・ウンゲラーの世界」

～ 「エミールくんがんばる」「こうもりのルーファスくん」「アテレード」「フリックス」「月おとこ」「ほうし」 などなど ～



大好きな「すてきな三にんぐみ」のトミー・ウンゲラーの特集です。人間よりも人間らしく正義感あふれるたこのエミールくん、好奇心旺盛なこうもりのルーファスくん、そらとぶカンガルーのキュートなアテレード、ユーモアたっぷりでもっとも魅力的な主人公たちが大活躍するお話です。また、犬の「フリックス」の両親はまさかの猫。犬社会と猫社会のはざまですてどう生き抜くのか？そして月に住んでいる「月おとこ」が地球にやってきて巻き起こす事件の数々、それぞれ奇想天外なストーリーの中にちょっと風刺が効いているウンゲラーの世界、どうぞお楽しみください。



## 今月の本棚・・・「ひなまつりの絵本」



～ 「わたしのひなさま」「ひなまつりにおひなさまをかざるわけ」「もりのひなまつり」「えんぴつびな」 などなど ～



クリスマスの絵本はたくさんあるのですが、他の行事絵本になるとたんに数が限られて、なかなかこれっという絵本に出会えません。ひなまつりや雛人形、流し雛の由来がわかりやすく描かれているのは、「わたしのひなさま」や「ひなまつりにおひなさまをかざるわけ」です。ほのぼのするかわいらしいおひなさまは、「もりのひなまつり」。「えんぴつびな」は、戦時中の切なく哀しいおひなさまのお話です。華やかでかわいいおひなさまだけでなく、いろいろなおひなさまに出会ってみてください。



## ほっとフレイク

がんばれ！将棋ボーイ・・・昨年ヒストリアの子ども将棋教室に仲間入りした1年生のUくん、始めた頃はよく息抜きをしに遊びに来ていましたが、最近は途中で抜け出してくることが少なくなくなって、ちゃんと終わってから来るようになりました。「今日はどうだった？」と聞くと、「2勝！」とか、「う～ん、1勝4敗！」と笑顔で答えていましたが、先日は、「7回やった！」と言ったきり勝敗については言いませんでした。

後から指導者の方とお話したところ・・・将棋はやっぱり勝たないと面白くない。だから勝ちたいと思えば強くなるけど、Uくんはまだそこまで欲がないので、他の対局に気をとられて同じ失敗を、またやっちゃった一つで感じてケロっとしている。思わず笑ってしまうかわいくて憎めないいい性格している彼なので、どうにか勝てるようになって将棋を楽しんでほしい。でも今回、悔しい気持ちで勝敗について言わなかったのなら、そういう

思いを大事にしてほしい。そういう思いさえあれば、何かちょっとしたきっかけで変われると思う、と。

最後に、負けても負けてもめげずにできるってすごいことですよ、と優しく言われていました。

温かい指導者の方たちに、想いや願いを持って見守られているUくん、ファイト！！！！





# KiKiの広場

2013年 4月 1日

cafe NO.30  
KiKi



♪ 昨年は桜が待ち遠しく感じられましたが、今年は「おいおい、ちょっと待ってよ。」というくらい早めの開花となりました。3月の中頃から、庭の花たちもいっきに咲き出し、近所のうぐいすたちも鳴き方の練習(?)をし始め、今ではすっかり上手になりました。寒暖に振り回される人間と違って、他の生き物たちは、しっかりと春の訪れを感じているのでしょうかね。桜は散っても葉桜を楽しみながら、まだまだ身近にいっぱいある春を見つけないといけません。

**4月の予定**

9日(火)	休館日
-------	-----



🍰 「今月のケーキ」…「シューバナケーキ」 300円 🍰

バナナとカスタードクリームをシュー皮でサンドし、アクセントにほんのり苦いチョコレートを効かせた、年代を問わず楽しめる KiKi 一押しのケーキです。



今月のお気に入り…「春を感じる絵本」

～ 「ねっこほっこ」「根っここのこどもたち 目をさます」「はるかきた」「はるゆらゆら」「つくし」「まゆとりゅう」などなど ～



もとは1冊の絵本の「ねっこほっこ」と「根っここのこどもたち 目をさます」。作者は、ジビュレ・フォン・オルファース（ドイツ）です。1906年作なので、100年も前から読み継がれた本です。絵本の持つ優しさ緻密さ可愛らしさは変わりませんが、訳と出版社の違いで、ずいぶん印象が違った絵本になっています。「ねっこ～」は、オルファース自身の文で詩的に訳されていますが、「根っこ～」は、アメリカで出版されたもの（アメリカの方の訳）を、石井桃子さんが訳されおり、物語風になっています。雰囲気の違いを楽しみながら、春が訪れることの喜びと季節がめぐる自然の美しさ、そして再び帰ってくる母なる大地のあたたかさを味わってみてください。



今月の本棚…「スズキ コージの世界」



～ 「きゅうりさんあぶないよ」「エンゾくんきしゃにのる」「なんでも見える鏡」「ひつじかいとうさぎ」などなど ～



独特の世界観、本から飛び出してきそうな迫力満点の絵、大好きな作家の1人スズキコージさんの特集です。ヤギの乳で育ったというスズキさん、絵本作家にとどまらず、画集・漫画・映画や演劇のポスター・舞台装置や衣装・店の看板やマッチ箱・壁画・はたまた自身のライブなど、ダイナミックな生き方は、まさしく絵本の中に出てくる様々な幻獣のよう。奇想天外・摩訶不思議なストーリーと絵ですが、細部までこだわっていて、主人公とは関係ないところにも小さなストーリーがあったり、風刺があったり、思わずくすっとなったり、何度も読み返してみたくなるそんなスズキワールドをぜひお楽しみください。



ほっとフレイク

3月のある昼下がり、スーツ姿に旅行バッグを抱えた青年が入って来られました。これからこの近くの会社の面接を受けられるそうで、なんと富山から来られたとのこと。実家はすぐく田舎で東京に出ていく友だちが多いけど、自分はあるな都会に行く失うものが多そうで、のんびりした田舎の方が向いていると言われました。その後、宇部について観光や物価などいろいろなことを聞かれました。その中で一番返答に困ったのは、「宇部の女性はどうか？」という質問です。「へっ？」と思いながら、逆に「富山はどうなんですか？」と聞くと、「ちょっと気が強いように思います。」と。う～ん、なんて答えようかなと悩みつつ、「宇部の女性は優しいと思います。」ときっぱり答えました。（ひ、ひとにもよるでしょうけど・・・(～;)）青年は「よかった。」とニコリ。出られる時、「頑張ってくださいね。」と声をかけると、「はい、行きます！」と元気よく出て行かれました。またまた宇部のお母さんになった気持ちです。ファイト!!!

